



<p>学校名</p>	<p>広島県立祇園北高等学校</p>
<p>所在地</p>	<p>広島市安佐南区祇園八丁目 25 番 1 号</p>
<p>HP</p>	<p><a href="https://www.gionkita-h.hiroshima-c.ed.jp/">https://www.gionkita-h.hiroshima-c.ed.jp/</a></p>
<p>令和4年度 交流内容</p>	<p><b>【オーラルコミュニケーションフェスティバル】</b> 令和4年11月12日（土）開催 各校の英語教育の実践を発表する場を提供することにより、生徒相互の交流や親睦を深め、英語学習への意欲向上を図ることを目的としています。高校4校（16名）、ALT4名、大学1校（2名）が参加して行われました。各校の創意工夫に満ちた発表に賞が授与され、お互いに良い刺激を受けた交流となりました。</p> <p><b>【エンパワーメントプログラム】</b> 令和4年12月20日（火）～12月24日（土）大雪のため4日間の開催 海外の大学生や大学院生との交流を通して、多様な価値観を知り、自分を見つめ、個性に気づくことができる、すべて英語で行われるプログラムです。23名の生徒が参加しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><b>【サーロー節子さんとの交流】</b> 令和4年12月、前年度に引き続き、1学年「論理・表現Ⅰ」の授業において、カナダ在住の被爆者サーロー節子さんのスピーチや関連番組を視聴し、御本人に1学年290名分のメッセージを送りました。</p> <p><b>【ペンパルプロジェクト】</b> 数年前からオンラインで交流している、セントモニカ・カトリック高校（アメリカ カリフォルニア州）で日本語を学んでいる高校生と手紙のやり取りをしました。向こうからは日本語で、こちらからは英語で、お互い一生懸命手紙を書きました。</p>
<p>今後の 交流予定</p>	<p>令和5年度 <b>【受入】</b> ブラジル訪問団来校 令和5年7月13日（木）13時00分～16時45分 5年ぶりの再開となりました。日本語を学んでいるブラジルの高校生33名と引率教員2名、添乗員1名が本校を訪れ、授業見学や書道体験、茶道と剣道の部活動体験を通して本校の生徒と交流しました。</p> <p><b>【セントモニカ・カトリック高校との交流】</b> 文化交流会やペンパルプロジェクトなどによる交流を積み重ね、状況によっては、生徒の派遣（研修旅行の実施）を検討することにしていきます。</p>